

課題別普及活動計画（R6年度）

（○：重点的に取り組む地域課題）

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
1	農業後継者の育成	就農3年以内の農業後継者への支援 ・課題解決能力の習得 (課題解決能力の平均習得度4段階自己評価3以上0→60%)	北見市 訓子府町 置戸町	新規就農者 研修受講生 (就農3年以内28名)	渡邊係長 山口専普 火ノ川専普 斉藤普指 山田普指 佐藤普職 小峯普職	R5 ～ R6	本所 地域係
2	○生産基盤強化による持続的な農業の確立	畑作物・園芸作物の安定生産 畑作物の栽培技術向上 ・適正な輪作へ向けた土壌pH改善の実践 (てんさい作付前の目標pH5.8: 0戸→0戸→1戸) ・小豆の安定生産に向けた基本技術の改善 (適切な栽植本数と病害虫防除: 0戸→1戸→5戸) 経営管理能力の向上 ・経営分析(生産費集計)の実践 (0戸→7戸→7戸) ・労働補完システムの実践 (0戸→2戸→4戸)	北見市 北見自治区	北見市相内 柏木地区 (7戸)	菅野係長 山口専普 渡邊(壮)専普 小峯普職 中田主査 武井次長	R3 ～ R7	本所 第一係
3	地域を担う農業経営者の育成	J A個別技術指導と連携した栽培管理及び経営管理力の向上 (栽培管理上の課題の検討回数: 0回→10回)	北見市 北見自治区	上常呂地区 経営移譲直後及び移譲予定の農業者(5名)	山口専普 渡邊(壮)専普 小峯普職 中田主査 菅野係長	R6 ～ R8	本所 第一係
4	○生産性の高い持続可能な農業の確立 Part2	各作物の安定生産 大豆の栽培法改善戸数 (0戸→2戸→4戸) たまねぎの栽培法改善戸数 (0戸→0戸→1戸) 有機物等を活用した効果的な土づくり実践 有機物導入技術改善戸数 (0戸→2戸→4戸)	北見市 端野自治区	協和地区 (25戸)	千田係長 火ノ川専普 山田普指 佐藤普職 武井次長	R3 ～ R7	本所 第二係

(○:重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
5	秋まき小麦の安定生産	ゆめちからの栽培管理技術の習得 子実タンパク (R 5 年産13.7%→14.0%以下維持)	北見市 常呂自治区	常呂町ゆめちから作付農業者 (90戸)	火ノ川専普 山田普指 佐藤普職 千田係長	R4 ～ R6	本所 第二係
6	○若手農業者を核とした地域農業の発展	地域を支える若手農業者の育成 ・自主的学習活動の実践 (自己課題計画の実践農業者 3戸→3戸) ----- 粘質土壌における安定生産 ・土壌改良技術の実践 (土壌改良実践農業者数 2戸→3戸)	置戸町	幸岡地区 (5戸)	渡邊係長 木島専主 渡邊(実)専主 斉藤普指 武井次長	R3 ～ R7	本所 第三係
7	新規導入作物(大豆)の栽培管理技術の向上	新規作物(大豆)導入農業者に対する技術支援 (営農計画単収達成農家戸数 (10戸) 飼養管理技術の向上 (飼養管理改善実施農家	訓子府町	新規作物(大豆)作付農業者 (15戸)	斉藤普指 木島専主 渡邊(実)専主 渡邊係長	R5 ～ R7	本所 第三係
8	和牛素牛の生産性の向上	飼養管理技術の向上 (分娩間隔短縮対策実施農家 0戸→2戸)	清里町	清里町和牛生産改良組合 (8戸)	米田専主 竜滝主査	R6	清里支所地域係
9	ジャガイモシストセンチュウ類対抗植物の栽培技術の確立	トマト野生種栽培技術の確立支援 (トマト野生種作付支援 農家 15戸→15戸)	斜里町 清里町	でん粉原料用ばれいしょ耕作者(37戸)	竜滝主査 荒井支所長 小山係長 高橋係長	R3 ～ R6	清里支所地域係

(○:重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
10	○種子用ばれい しょの安定供給を 中心とした持続的 な地域農業の確 立	畑作物栽培技術の向上 ・てんさい 土壌診断に基づく適正 施肥農家戸数(0戸→ 2戸) ・秋まき小麦 地域に合った施肥管理 実践農家戸数(1戸→ 3戸) 種子用ばれいしょの安 定供給 ・土壌診断に基づく適 正施肥農家戸数(0戸 →2戸)	清里町	清泉地区 (5戸+1 法人)	小山係長 米田専主 横市専普 松田専普 元木普指 萬歳普職 藤原普職 竜滝主査	R3 ～ R7	清里支 所第一 係
11	大豆の安定生産 技術の確立	製品反収6.0俵を目指し た栽培技術の確立 ・カメムシの適正防除 ・栽植本数の確保 (改善農家戸数0戸→4 戸)	小清水町	大豆耕作者 (114戸)	藤原普職 小山係長 元木普指	R6	清里支 所第一 係
12	4Hクラブ活動 の活性化	クラブ活動の活性化に 向けた活動参加率の向 上(学習会参加率 30%→67%)	清里町	清里町プ ライズク ラブ (23名)	松田専普 萬歳普職	R6	清里支 所第一 係
13	ジャガイモシ ストセンチュウ類 対抗植物の栽培 技術の確立	トマト野生種栽培技術 の確立支援 (トマト野生種作付支 援 農家 15戸→15戸)	斜里町 清里町	でん粉原 料用ばれ いしょ 耕作者(3 7戸)	竜滝主査 荒井支所 長 小山係長 高橋係長	R3～ R6	清里支 所第二 係

(○:重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
14	○ 大規模畑作経営における地域モデルの確立	規模拡大に応じた経営体の強化 ・共同作業組織の計画的作業の実践 (実践数4個→6個) 大規模経営における畑作物安定確収技術の確立 ・ばれいしょ安定生産のための輪作改善 (輪作改善戸数0戸→3戸)	斜里町	秋の川班 (6戸)	高橋係長 前野専普 犬塚普指 中坂普職 荒井支所長	R3 ～ R7	清里支所第二係
15	○ 輪作体系の再構築による持続可能な農業経営の確立	<u>畑作物の安定生産</u> ・てんさい直播栽培技術の向上 提案項目の実践農家戸数(0戸→3戸→5戸) ・大豆間作小麦栽培技術の向上 提案項目の実践農家戸数(0戸→0戸→3戸) <u>各種データ活用によるコスト削減</u> ・土壌分析値、有機物施用状況に基づいた、てんさい適正施肥技術の導入 導入農家戸数(0戸→0戸→2戸) ・衛星リモセンデータ活用による、秋まき小麦可変施肥技術の導入 導入農家戸数(0戸→0戸→1戸)	網走市	中園第16地区 (6戸1法人)	斉藤係長 工藤専普 志鎌専普 岩本普指 茂木普職 伊藤普職 松浦主査 相馬支所長	R4 ～ R7	網走支所地域係
16	新規就農者実践研修支援	新規就農者に対する研修支援・技術の習得 (研修受講生(2年生)の平均習得度5段階で3.5以上 80%)	網走市 大空町 東藻琴	研修受講生 (5名)	岩本普指 志鎌専普 茂木普職 伊藤普職	R3 ～ R7	網走支所地域係

(○:重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
17	ジャガイモシストセンチュウ類抵抗性品種の栽培法確立	適正な防除方法の推進 (実施戸数35戸→35戸)	網走市 大空町 東藻琴	でん粉原料 用ばれいし よ耕作者 (35戸)	松浦主査 相馬支所 長 斉藤係長 岩本普指	R 3 ～ R 7	網走支 所地域 係
18	和牛素牛生産性の向上	日増体コストの改善 (0戸→2戸) (R5年比3%減)	網走市	素牛生産 農家(2戸)	志鎌専普	R 6 ～ R 7	網走支 所地域 係
19	○適切な輪作とICT活用による地域農業生産基盤の確立	○畑作物の生産性向上 ・なたねの生産体系確立 (生産体系確立農家戸 数0戸→2戸) ・リン酸蓄積ほ場にお ける適正施肥による収 益確保 (kg当たり生産費削減農 家戸 数1戸→2戸) ○ICTの活用推進 ・秋まき小麦の最適L AI等設定の習得(最 適LAI等設定の習得農 家戸数0戸→2戸)	津別町	恩根地区 (6戸、内 協業法人1戸、 1戸法人1戸)	竹永係長 山田主査 大城調整 幹 中野専普 安藤専普 斎藤普指 河田普職 石垣普職 藤江普職 佐々木支 所長	R 3 ～ R 7	美幌支 所地域 係
20	将来を見据えたたまねぎの安定生産	連作ほ場における地力 向上技術の導入 (実践農家 0戸→2戸)	美幌町 津別町 大空町女 満別	長期連作農 家 (30戸)	竹永係長 中野専普 斎藤普指	R 5 ～ R 7	美幌支 所地域 係
21	酪農家の粗飼料確保量および品質の向上	粗飼料の安定確保対策 の推進 (実践事例 0→2事例)	美幌町 津別町 大空町女 満別	酪農家 (38戸)	大城調整 幹 安藤専普	R 5 ～ R 7	美幌支 所地域 係

(○:重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
22	○次代につなぐ 地域農業基盤の 整備	労働環境の充実と安定 生産 ・労働の整備による経 営の効率化 (検証戸数5戸→5戸) 法人の充実で効率的な 農作業の展開 ・法人運営支援 (実践数10→10件) 地域営農システムの発 展 ・地域の担い手育成 (整備数8→9件)	遠軽町	生田原安国 地区 (2法人・ 7戸)	浦上係長 吉田専普 金子専普 上原専職 長尾普職 花岡支所長	R3 ～ R7	遠軽支 所第一 係
23	持続的な農業の 強化	担い手対策に関する 体制の構築 ・人材確保、定着に向 けた実践 (実践戸数 0戸→1戸)	遠軽町	担い手対策 志向農業者 (7戸)	金子専普 長尾普職 浦上係長	R6 ～ R7	遠軽支 所第一 係
24	生産性の高い栽 培技術の推進	大豆、たまねぎの土壌 分析に基づいた施肥の 推進 ・肥料費の7%低減 (実践戸数 0戸→2戸)	湧別町 遠軽町	JAえんゆう 農業者 (56戸)	吉田専普 上原専職 浦上係長	R6 ～ R7	遠軽支 所第一 係
25	粗飼料収量性の 向上	牧草地管理技術の向上 (有機物施用を考慮した施肥 の見直し 0戸→3戸)	佐呂間町 湧別町	改善志向農 場3戸	黒坂普職 三浦主査	R6	遠軽支 所第二 係
26	○飼養管理改善 による酪農経営 の安定化	飼養管理技術の向上 (分娩後60日以内死産率 4戸平均 6.9%→6.3%) 搾乳機器点検整備に よる乳質の向上 (生菌数0.4万個/ml以下 4戸年平均63%→70%)	湧別町	湧別町川西 第2地区 (6戸)	丹羽係長 吉田専主 水野専普 佐々木普職 黒坂普職 三浦主査 花岡支所長	R3 ～ R7	遠軽支 所第二 係

(○:重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
27	新規就農者の飼養管理技術安定化	TMR給与技術の向上 (分娩時乳中ケトン体(BHB) の低減1戸→2戸)	湧別町	新規就農者 (2戸)	黒坂普職 三浦主査	R 6	遠軽支 所第二 係
28	大豆栽培の安定化	新規作付者の収量確保 (大豆収量地域平均95%以上 0戸→3戸)	佐呂間町	新規作付農 場(3戸)	吉田専主 佐々木普職	R 6	遠軽支 所第二 係
29	○地域資源の活用で効率的な酪農経営 (畜産クラスター事業、畜産ICT事業)	生産性の高い技術の確立 (飼養管理改善の実 施農業者戸数4戸→ 5戸) 粗飼料品質の向上 (サイレージロス削減 の取組実施 農業者戸 数1戸→3戸)	紋別市	奥東・立牛 地区 (7戸)	藤井係長 宿澤専普 斉藤専普 切木専普 南義普職 太田支所 長	R 3 ～ R 7	紋別支 所第一 係
30	秋まき小麦の生産性向上	栽培管理技術の改善 (施肥改善実施農家戸 数7→10戸)	紋別市 滝上町	畑作振興会 小麦生産部 会(17戸)	斉藤専普 宿澤専普	R 5 ～ R 6	紋別支 所第一 係
31	農場後継者、従業員の技術向上支援	講習会や視察研修による営農技術、経営管理能力等の向上 (研修会開催4→5回)	紋別市 滝上町 西興部村	農場後継 者、従業員、 実習生	切木専普 南義普職 藤井係長	R 5 ～ R 6	紋別支 所第一 係
32	TMRセンターの粗飼料確保支援	低収量草地への追播による収量改善 (収量改善2→4ほ場)	西興部村	西興部グ ラスフィー ドファクト リー	切木専普 南義普職	R 5 ～ R 6	紋別支 所第一 係
33	○安定生産を実現する酪農経営の確立 (中山間事業、畜産クラスター関連事業、草地難防除雑草駆除対策事業)	飼料管理改善 ・繁殖管理改善実施農 家戸数 (改善実施農家戸数2戸 →3戸) 飼料作物の安定栽培 ・良質粗飼料確保に向 けた改善実施農家戸数 (改善実施農家戸数3戸 →4戸)	雄武町	栄丘地区 (5戸)	金子係長 高見専普 石松普指 小沼普指 太田支所 長	R 3 ～ R 7	紋別支 所第二 係

(○:重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
34	酪農経営の担い 手育成支援	酪農経営の担い手育成 支援 ・酪農経営技術の習得 (技術習得農家戸数0戸 →1戸) ・北オホーツクデイリ ースクール開催支援 (5回→5回)	興部町 雄武町	新規就農者 (1戸) 北オホーツ クデイリー スクール対 象者	金子係長 高見専普 石松普指 小沼普指	R 6 ～ R 8	紋別支 所第二 係

2 広域推進事項一覧

業務区分	推 進 事 項 名 (関連事業)	主たる 対象市町村名	普及対象	担当者
担い手	地域農業を担う多様な人材の育成	管内農業者	管内農業者	大畑主査
情報・クリー ン・有機	情報の共有と情報発信の充実 持続可能な農業の実践支援	管内農業者	管内農業者	樋口主査
高付加価値化	地域活性化に向けた高付加価値化 の推進	管内農業者	管内農業者	中川主査